

STORY

西暦 2808 年、日本は政治、経済、その他あらゆる面において世界の中心であり、そのシンボルともいえる地上千階にも及ぶ超高層ビル、一電腦摩天楼一は、8 階層から成る日本の中心地、OEDO808 (Oriental Electric Darwinism Oasis) を貫くようにそびえ立っている。極度に発達したコンピューター技術とバイオテクノロジーによって、人々は労働の意味をなくし、文化は退廃を極めていった。社会の暗部では、強盗、殺人といった犯罪に加え、コンピューターレイドやシステム破壊といった電腦犯罪が多数を占めるようになった。

「ロボット犯罪」、「バイオ犯罪」、「偽造犯罪」、「ハイジャック」、「メディアジャック」... OEDO 808 はそうした犯罪を金銭のみならず、ただ快楽の為だけに行うような犯罪者たちの巣窟と化していた。これらの犯罪による殉職者の数はうなぎ登りとなり、電腦警察 (サイバーポリス) はこれに対処すべく、事件解決の為の特殊捜査局を設け、初めての捜査用サイバロイド・ヴァーサスを投入、人間とサイバロイドによるサイバーポリスセキュリティ計画を実施した。捜査にあたる機動刑事には、本来無期懲役に値する犯罪者たちがあてられ、事件解決の報酬として刑期を減少するというシステムが採用された。そして今、一人の男が七年ぶりにオーエドに舞い戻って来た。

■ OEDO 808

あらゆる作業がコンピューターによってコントロールされる「サイバーシティ」。地上には頭脳を持った摩天楼が林立し、地下には体内の血管のように複雑に入り組んだ無数の光ファイバーケーブルが埋設されている。

労働人口の比率は 21 世紀の 1000 分の 4 に減少し、通勤ラッシュという言葉も死語になっている。過去に 23 区に分割されていた都市形態は 8 階層に細分化され、「OEDO 808」と呼び名も変わった。

これには東京 23 区と神奈川・千葉・茨城の一部が含まれる。
正式名称 Oriental Electric Darwinism Oasis

■ 電腦摩天楼

OEDO 808 の中心にそびえ立つ、現代の建築概念を打破した未来の超高層ビル。高さは地上 1000 階にも達する。

外敵からの破壊工作を受けた場合は仮想敵国への報復手段を用いる軍用システムとしての機能もある。

■ サイバーセキュリティ計画

機動刑事と命名された特殊な任務を遂行するために教育された電腦犯罪のエキスパートとその補佐をするサイバロイドと呼ばれるロボットでチームを組んで活動し、凶悪な電腦犯罪から市民を守ることを第一とされた特殊形態の警察機構。

機動刑事には特権として犯罪捜査時での総支配権として、裁判官の特命を受けており、犯罪現場での犯罪者が罪なき者に危害を与えようとしたり、必要以上に抵抗した場合は、サイバロイドでのデータ収集を行いながら射殺できるライセンスを所持している。

■ ID カード

身分証明用。

■ キャッシュカード

これを使用しているような情報を得ることができる。

■ 公衆端末

街中に設置してある端末。これを使用しているところと通信することができる。

HE
system

CD-ROM²
system
PC Engine

CYBER CITY
OEDO
808

獣の属性

Mitsuba
メサイヤ

HE
system

CD-ROM²
system
PC Engine



CYBER CITY
OEDO
808

獣の属性

Mitsuba
メサイヤ